



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月11日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,129	6.0	4		2		3	
2021年3月期第1四半期	1,201	10.0	17		18		13	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 6百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 17百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	5.06	
2021年3月期第1四半期	19.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	2,787	1,040	37.3	1,487.52
2021年3月期	2,875	1,058	36.8	1,512.01

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 1,040百万円 2021年3月期 1,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		15.00	15.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,787	1.9	20	58.8	22	56.2	9	81.3	12.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	705,500 株	2021年3月期	705,500 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	5,745 株	2021年3月期	5,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	699,755 株	2021年3月期1Q	699,785 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9
(その他注記事項)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の世界的な影響により急速な減速が続いており、引き続き雇用環境に多大な影響を及ぼし、個人消費についても、消費者マインドを悪化させております。一方政府は今までにない経済対策を推し進めており、一時的な回復の兆しが見えたものの、2021年4月には3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、景気の先行きを大きく不透明にしております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、コロナによる緊急事態宣言の下、在宅勤務の増加や消費者の不要不急の外出自粛が引き続き継続する中、多くの外食産業がテイクアウトを開始したことにより消費者の選択肢が広がり、前年並みの効果を上げることは出来ませんでした。当社グループにおいては昨年専属担当者を設置しておりますOEM事業は徐々に市場に商品を投入し始めております。一方、商談自粛による営業活動の縮小、集客催事の中止や規模縮小が重なり、対面販売をする商品は苦戦することとなりました。

このような経営環境の下、化学調味料を使わない無添加自然食品専門企業として50年の年月を積み重ねてきた歴史に信頼をいただいている当社グループは、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』(2020年4月1日～2023年3月31日まで)を作成しました。その2年目となります当連結会計年度におきましては、オーガニック&プラントベースの分野でカテゴリNO.1企業を目指し、コロナ後の食品市場における新しい営業活動(コロナまん延前とは明らかに違う営業活動)を想定し、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「嗜好品・飲料」が、はちみつ製品等の売上増があったものの、メイシー4連タイプ等の売上増により前年同四半期比39百万円増(22.3%増)の2億14百万円となりました。しかしながら、「副食品」が、有機トマト缶等の売上増があったものの、パンケーキ粉等の売上減により前年同四半期比36百万円減(11.9%減)の2億69百万円、「油脂・乳製品」が、新商品カメラナオイル等の売上増があったものの、えごま油等の売上減により前年同四半期比25百万円減(16.3%減)の1億31百万円、「その他」が、歯磨き粉等の売上増があったものの、スポットで扱ったウイルス対策品等の売上減により前年同四半期比22百万円減(43.3%減)の29百万円、「乾物・雑穀」が、もち麦等の売上増があったものの、巣籠もり需要が一段落した国内産小麦粉等の売上減により前年同四半期比21百万円減(22.8%減)の71百万円、「栄養補助食品」が、新商品のビタミンC等の売上増があったものの、ミドリムシ等の売上減により前年同四半期比3百万円減(9.3%減)の36百万円、「調味料」が、マヨネーズ等の売上増があったものの、えごま油を使ったドレッシング等の売上減により前年同四半期比1百万円減(0.4%減)の3億77百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、11億29百万円(前年同四半期比71百万円減、6.0%減)となり、売上総利益率25.2%と前年同四半期比0.3ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は2億88百万円(前年同四半期と同等)となり、営業損益につきましては、営業損失4百万円(前年同四半期は、営業利益17百万円)となり、経常損益につきましては、経常損失2百万円(前年同四半期は、経常利益18百万円)という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円(前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円)となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第1四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		前年同四半 期比	主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
油脂・乳製品	157,033	13.1	131,370	11.6	16.3%減	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油、カメリナオイル
調味料	379,183	31.6	377,633	33.4	0.4%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	175,155	14.6	214,174	19.0	22.3%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)・豆乳・はちみつ製品
乾物・雑穀	92,666	7.7	71,580	6.4	22.8%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鯉節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末・おから
副食品	305,490	25.4	269,221	23.8	11.9%減	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	39,909	3.3	36,181	3.2	9.3%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・基石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス・ビタミンC
その他	51,594	4.3	29,235	2.6	43.3%減	トイレットタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー・歯磨き粉・ウイルス対策品など
合計	1,201,033	100.0	1,129,398	100.0	6.0%減	—

② 仕入実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		前年同四半 期比
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
油脂・乳製品	117,201	13.0	107,043	12.6	8.7%減
調味料	290,351	32.2	293,927	34.6	1.2%増
嗜好品・飲料	133,432	14.8	162,051	19.1	21.4%増
乾物・雑穀	80,007	8.9	60,455	7.1	24.4%減
副食品	201,587	22.3	171,839	20.2	14.8%減
栄養補助食品	30,172	3.3	26,612	3.0	11.8%減
その他	49,253	5.5	28,717	3.4	41.7%減
合計	902,007	100.0	850,648	100.0	5.7%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて86百万円の減少となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の1億円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2百万円の減少となりました。この主な要因は、「繰延税金資産」の1百万円増加があったものの、「投資有価証券」の4百万円減少などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて88百万円減少し、27億87百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて28百万円の減少となりました。この主な要因は、「短期借入金」の30百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて42百万円の減少となりました。この主な要因は、「長期借入金」の46百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて71百万円減少し、17億46百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて17百万円の減少となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の14百万円減少（親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円の計上及び配当総額10百万円）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（2021年5月14日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,737	1,315,349
受取手形及び売掛金	649,301	638,250
商品及び製品	241,008	248,769
仕掛品	—	28
原材料及び貯蔵品	22,770	24,760
その他	16,943	32,506
貸倒引当金	△135	△136
流動資産合計	2,345,626	2,259,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	307,094	307,094
減価償却累計額	△255,011	△256,234
建物及び構築物(純額)	52,083	50,860
土地	88,371	88,371
リース資産	47,658	47,658
減価償却累計額	△25,416	△27,226
リース資産(純額)	22,241	20,431
建設仮勘定	502	704
その他	195,166	199,420
減価償却累計額	△173,551	△175,823
その他(純額)	21,615	23,596
有形固定資産合計	184,814	183,964
無形固定資産		
その他	11,608	12,343
無形固定資産合計	11,608	12,343
投資その他の資産		
投資有価証券	80,096	75,651
保険積立金	210,025	210,673
繰延税金資産	12,764	14,111
その他	31,664	32,049
貸倒引当金	△742	△730
投資その他の資産合計	333,807	331,755
固定資産合計	530,231	528,063
資産合計	2,875,857	2,787,593

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,313	452,034
短期借入金	516,440	486,318
リース債務	7,202	6,099
未払法人税等	18,120	3,097
賞与引当金	18,690	8,996
その他	100,160	101,923
流動負債合計	1,086,926	1,058,469
固定負債		
長期借入金	374,700	327,780
リース債務	14,404	13,428
役員退職慰労引当金	117,000	119,300
退職給付に係る負債	190,917	192,881
その他	33,875	34,836
固定負債合計	730,896	688,225
負債合計	1,817,823	1,746,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	96,909	82,871
自己株式	△11,154	△11,154
株主資本合計	1,052,185	1,038,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,848	2,751
その他の包括利益累計額合計	5,848	2,751
純資産合計	1,058,033	1,040,899
負債純資産合計	2,875,857	2,787,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,201,033	1,129,398
売上原価	895,003	844,662
売上総利益	306,030	284,736
販売費及び一般管理費	※ 288,939	※ 288,797
営業利益又は営業損失 (△)	17,090	△4,061
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	856	963
仕入割引	910	797
貸倒引当金戻入額	8	10
破損商品等賠償金	90	47
その他	707	650
営業外収益合計	2,579	2,474
営業外費用		
支払利息	1,490	1,167
営業外費用合計	1,490	1,167
経常利益又は経常損失 (△)	18,178	△2,753
特別損失		
固定資産除却損	132	—
保険解約損	126	232
特別損失合計	258	232
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	17,919	△2,986
法人税、住民税及び事業税	4,399	554
法人税等合計	4,399	554
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	13,520	△3,541
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	13,520	△3,541

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,520	△3,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,633	△3,097
その他の包括利益合計	3,633	△3,097
四半期包括利益	17,154	△6,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,154	△6,638
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による変更点は以下の通りです。

有償支給取引については、従来、支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、当該収益は認識しない方法に変更しました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,601千円減少し、売上原価は5,601千円減少しましたが、営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失に変更ありません。また、利益剰余金の当期期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

当連結グループは、健康自然食品の卸売業として、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
荷造運送・保管費	86,903千円	83,720千円
給料手当及び賞与	65,369	69,721
研究開発費	11,628	7,860
退職給付費用	6,885	6,828
役員退職慰労引当金繰入額	2,200	2,300
賞与引当金繰入額	8,463	8,644

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
減価償却費	7,351千円	5,929千円